

国際女性の日関連企画 WE-Nagano Forum 2026

ドキュメンタリー映画『女性の休日』特別上映・トークショー開催

— ジェンダー格差指数1位のアイスランドを描いた映画を通じて、共に考える機会を—

『産む気もないのに生理かよ!』の著者・コラムニスト 月岡ツキさん、
ジェンダー研究者・ジャーナリスト 河原 千春さんをゲストにお呼びし、
3月14日(土)は上映後トークショーも開催! 80名の上映特別枠(無料枠)あり!

昨年に引き続き国際女性の日(3月8日)に関連して、WE-Nagano Forum 2026を開催します。本イベントは、長野県立大学が推進するWomen Entrepreneurs Nagano(WE-Nagano)プロジェクトの一環として実施するもので、ジェンダーや世代、立場を越えて、「より女性が、そして誰もが生きやすい社会とは何か」を、映画鑑賞とトークを通じて考える、一般公開型のフォーラムです。

なお、本イベントではWE-Naganoプロジェクトの理念に基づき、長野県内在住・在学・在勤者を対象とした特別枠(無料観覧枠)80名分を設けます。高校生・大学生を含む若い世代の参加や、ケア労働の多忙により映画を観る機会が減っている人の参加をお待ちしています。「私のアクション! 未来のNAGANO 創造県民会議(長野県)」の協力により、無料の託児10人分も設置します。

また、3月14日(土)に加えて、国際女性の日当日である3月8日(日)にもWE-Nagano協力で、感想シェアの時間が設けられます(主催:長野相生座・ロキシー)。

【WE-Nagano Forum2025 「女性の休日」特別上映・トークショー】

- 日時: 2026年3月14日(土) 13:00 開場/13:30 開始/15:30 終了予定
- 主催: 長野県立大学
- 共催: 長野相生座・ロキシー
私のアクション! 未来のNAGANO 創造県民会議
- 会場: 長野相生座・ロキシー(長野市鶴賀2255)
- 定員: 250名(うちWE-Nagano特別枠80名)
- プログラム・登壇者: 別添のとおり
- 申込方法: 一般受付は2月14日(土)10:00から受付けます(定員に達し次第締切り)。
申込先等の詳細は、後日ウェブサイト(<https://we-nagano.com/>)でお知らせします。

【プログラム・登壇者】

『女性の休日』を観覧後、コラムニスト・ジャーナリスト・研究者という3人が登壇するトークショーを実施し、映画の内容を手がかりに、日本や長野という地域におけるジェンダー、働き方、ケア、そして「休むこと」の意味について、多角的に議論します。

13:00～ 開場

13:30～ 上映（71分）、休憩

15:00～ トークショー

月岡ツキ（コラムニスト）

河原千春（ジェンダー研究者／ジャーナリスト）

渡邊さやか（長野県立大学大学院 准教授）

	<p>月岡 ツキ（コラムニスト）</p> <p>1993年生まれ、長野県出身。大学卒業後、Webメディアの編集やネット番組の企画制作を経て、現在はコラムニストとしてエッセイ・インタビューなど幅広く執筆。マイナビウーマンにて「母にならない私たち」を連載。既婚・子育て中の同僚とのPodcast『となりの芝生はソーブルー』のほか、個人番組『月岡ツキの月面通信』を配信中。著書に『産む気もないのに生理かよ！』（飛鳥新社）、『傷つきながら泳いでく』（朝日新聞出版）。</p>
	<p>河原 千春（ジェンダー研究者・ジャーナリスト）</p> <p>横浜市出身。お茶の水女子大学大学院在学。法政大学沖縄文化研究所奨励研究員。2007～2025年、信濃毎日新聞記者。25年の長期連載「ともにあたらしく ジェンダー 地域から」に携わる。編著に『志縁のおんな もろさわようことわたしたち』、編集解説に、もろさわようこ著『新編 おんなの戦後史』、編集協力に三木健著『沖縄・八重山五十年史』（伊波普猷賞）など。SBCラジオ『MiXxxx+』（ミックスプラス）に出演中。</p>

【3月14日（土）WE-Nagano 特別枠について】

イベントでは、WE-Nagano プロジェクトの理念に基づき、長野県内在住・在学・在勤者を対象とした特別枠（無料観覧枠）80名分を設けます。高校生・大学生等の若い世代を含め、映画を見て考える機会を促進し、また終了後のアンケート記載を通じて、参加者の声を今後の教育・研究・地域連携活動へと還元していく予定です。

また、共催団体である「私のアクション！未来のNAGANO創造県民会議」により、託児（定員10名・事前申込制）も実施され、子育て中の方も参加しやすい環境を整えます。

WE-Nagano Forum 2026



女性の休日

THE DAY ICELAND STOOD STILL

1975年10月24日 アイスランド全女性の90%が
仕事も家事も一斉に「休んだ」世界を変えた、
知られざる運命の1日のドキュメンタリー

監督:パメラ・ホーガン エンドクレジットソング:ビョーク
2024年/アイスランド・アメリカ/アイスランド語・英語/
原題:The Day Iceland Stood Still/71分
後援:アイスランド大使館 提供・配給:kinologue
© 2024 Other Noises and Krumma Films.

やるの？
できるの？
必ずやる！

ドキュメンタリー映画『女性の休日』 特別上映・トークショー開催

日時： 2026年3月14日（土）13:00開場/13:30開始/15:30終了

会場： 長野相生座・ロキシー（長野市鶴賀2255）

定員： 250名（うちWE-Nagano特別枠 80名）

アフタートーク登壇者

月岡ツキ（コラムニスト）

河原千春（ジェンダー研究者／ジャーナリスト）

渡邊さやか（長野県立大学大学院 准教授）

特別枠（無料観覧枠）一般申込み

2月14日（土）10:00開始

詳細は後日ウェブサイトに掲載



月岡 ツキ

1993年生まれ、長野県出身。大学卒業後、Webメディアの編集やネット番組の企画制作を経て、現在はコラムニストとしてエッセイ・インタビューなど幅広く執筆。マイナビウーマンにて「母にならない私たち」を連載。既婚・子育て中の同僚とのPodcast『となりの芝生はソープルー』のほか、個人番組『月岡ツキの月面通信』を配信。著書に『産む気もないのに生理かよ！』（飛鳥新社）、『傷つきながら泳いでく』（朝日新聞出版）。



河原 千春

横浜市出身。お茶の水女子大学大学院在学。法政大学沖縄文化研究所奨励研究員。2007～2025年、信濃毎日新聞記者。25年の長期連載「ともにあたらしく ジェンダー 地域から」に携わる。編著に『志縁のおんな もろさわようことわたしたち』、編集解説に、もろさわようこ著『新編 おんなの戦後史』、編集協力に三木健著『沖縄・八重山五十年史』（伊波普猷賞）など。SBCラジオ『Mixxxx+』（ミックスプラス）に出演中。

主催



共催

長野相生座・ロキシー、私のアクション！未来のNAGANO創造県民会議

【問合せ先】 WE-Nagano実行委員会 we-nagano@u-nagano.ac.jp

●会場には、専用駐車場はありません。●当日は公開を前提とした写真撮影や報道機関による取材が入りますので、予めご了承ください。